みんなに聞いてほしい

～　コロナ禍で私のまわりに起こったこと　～

　教材について

　学級には、コロナ禍によって、不安やストレス、暴力、虐待等、経済的困難など、さまざまな問題を背負わされている子がいます。蓄積した負のエネルギーは、他者への攻撃や生活の乱れ、無気力等へと形を変えて表れます。結果としての行為や態度を指導する前に、まず、子どもたちの思いや訴えを聞くことが大切ではないでしょうか。

子どもたち自身が抱えている「しんどさ」や「思い」を出し合い、教師と子どもたちが一緒に共感する。「みんなもしんどかったんやなあ…」という気づきは、何となく「ホッとする」感覚です。コロナ禍の影響も加わり、生活が厳しく不安定な家庭の中で、十分に話を聞いてもらえない子は少なくないと思われます。「共感する」ことは、もしかしたら、負のエネルギーを正のエネルギーに変えるきっかけになるかもしれません。

　対象学年（年齢）と指導案の内容について

　対象学年を特に定めず作成しています。学年の発達段階や子どもたちの様子に合わせて工夫すれば、就学前から高校生まで活用できるのではないでしょうか。

　指導案の工夫（例）について

・学年があがると思いを素直に出しにくいかもしれません。また、休校によって、学級づくりが未だすすまず、子どもたち同士がお互いに様子を見ている状況も想像できます。原案のように「気持ち相関図」で意思表示することが難しいなら、後で共有することを伝えたうえで「無記名アンケート」形式で取り組むことも可能です。この学習では「不安の軽減」や「ストレスの緩和」という成果を期待していますので、子どもたちが取り組みやすい形にする工夫をしたいです。

・【 動画(等)の参考 】

◇「新型コロナウイルスの負のスパイラルを断ち切ろう！」

https://www.ishikawa.jrc.or.jp/info\_notification/post4103

◇（テキスト）「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！　負のスパイラルを断ち切るために」

<http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html>

　　◇「ウイルスの次にやってくるもの」 - YouTube

　　　アップロード元: JapaneseRedCrossPR

　子どもの「しんどさ」や「思い」に気づくために　【参考】

時事通信社の記事「子どもの心、傷なお深く＝不安定な生活ストレスに〔東日本大震災3年〕」〈2014.2.27〉に、震災後の子どもたちの様子について調べた、岩手県教育委員会の調査や東北大学の調査について書かれていますのでご参照ください。

長期の休校、そして、学校が再開した「今」･･･。現場の状況や悩みを教えていただけませんか？

　これまで経験したことのない状況の中で、それぞれの現場で見られる、困りごとや課題、今後想像される心配など、さまざまな問題があるのではないでしょうか。最前線で子どもたちと関わっておられるみなさまの思いや情報を、滋人教の活動や研究に生かしていきたいと考えています。ご協力いただける方は、メールやFAXにて情報提供をお願いします（所属やお名前もお願いします）!!

【メールアドレス】**sijinkyo@mx.biwa.ne.jp****【FAX】077－525－5097**

**【** 件名 **】「コロナ禍に関する情報」**

　指導案

1. ねらい

◎コロナウイルス感染症対策に関わって、思うこと（いやなこと、心配なこと、困っているこ

と、ホットしたこと、自分の考え…など）を出しあい、共感する。

コロナ禍での学校生活が始まっています。そんななかで、嫌な言葉を投げかけられたり、いやな思いをしたりする人がいるかもしれません。その時の気持ちを出しあって、クラスで考える機会をつくるのが目的です。「○○してはいけません」とか「△△を言ってはいけません」という「いけません」を押しつける授業ではありません。

1. 準備物　吹き出し用の紙（A4くらい）一人一枚、気持ちの相関図紙（模造紙全紙大）

みんなに聞いて

ほしいこと

名前　○○○

　　　　（班でおこなう場合は四つ切り大の紙）

**※「他の例」**

・社会に言いたいこと

・困っていること

・学校が休みで嫌だっ

たこと など

3，時間数　　一時間（やり方によっては二時間）

4，授業の流れ

* 1. 今日はコロナのことをみんなで考えます。予防の話ではありません。

吹き出し用の紙を配る。

* 1. 動画を見る「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう、負のスパイラルを断ち切るために（日赤編）」…「日赤　コロナ」で検索するといくつか動画がある。学年に合わせて適当なものを選ぶ。
	2. 吹き出しの紙に、コロナに関してみんなに聞いて欲しいこと(※他の例参照)を書いてみよう。

個人の作業…コロナ禍にかかわってみんなに聞いて欲しいことを考えて書く。

* 1. 黒板の「気持ちの相関図」に自分の吹き出しを当てはまる所に貼る。自分の聞いて欲しいことを発表する。クラスの仲間はその発表を聞く。

※班でやる場合は4人班よりも6人くらいの人数がよい。

* 1. 仲間の発表を聞いて、感想を書く。
	2. 感想の交流（感想の交流は第二次にしてもよい。紙面＝学級通信等、で交流してよい）。



**怒り**

**嬉しい**

**不安**

**悲しい**

**安心**

気持ちの相関図

マスクを忘れたらしゃべって

もらえんかった

くしゃみをしたら

あっち行けと

いわれた

修学旅行は

どうなった?!

受験が

　不安！(>\_<)

部活できるけど

試合がない!!

コロナ

くるなと言われた

学校に

来られた！

○○ちゃんが

マスクのつくり方

教えてくれた

給食があって

よかった

学校はええけど

勉強わからんわ





